

事務事業名	市単かんがい排水事業			担当	産業部 農政課 農村整備係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり		増補版施策名			
施策名	1	農業の振興		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和47年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市土地改良事業等補助金交付要綱						
予算科目	1. 一般会計	6. 農林水産業費	1. 農業費		6. 農地費		
事業概要	真岡市単独土地改良事業として、国・県補助の対象とならない小規模な農業水利施設等の整備を支援し、農業農村の持続的な発展を図る。 ・市補助率 かんがい排水 20% 改良区等 80% 災害復旧 50% 改良区等 50%						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																																
29年度実績 清水地区 用水路嵩上げ L=80m 事業費 259千円 × 20% = 52千円 根本地区 用水路嵩上げ L=76m 事業費 492千円 × 20% = 98千円 東郷地区 用水路嵩上げ L=200m 事業費 648千円 × 20% = 130千円 東大島地区 用水路嵩上げ L=90m 事業費 306千円 × 20% = 61千円 30年度計画 飯貝地区 用水路嵩上げ 1箇所 事業費 400千円 × 20% = 80千円 龜山地区 用水路嵩上げ L=50m 事業費 700千円 × 20% = 140千円 飯貝地区 用水路嵩上げ L=120m 事業費 480千円 × 20% = 96千円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 補助金額</td> <td>千円</td> <td>330</td> <td>183</td> <td>462</td> <td>341</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td>イ 事業費</td> <td>千円</td> <td>1,650</td> <td>917</td> <td>2,067</td> <td>1,185</td> <td>1,580</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 補助金額	千円	330	183	462	341	316	イ 事業費	千円	1,650	917	2,067	1,185	1,580	ウ							エ							オ						
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																												
ア 補助金額	千円	330	183	462	341	316																																												
イ 事業費	千円	1,650	917	2,067	1,185	1,580																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																																
補助対象先 土地改良区、農業協同組合、市長が適当と認めるもの 補助対象事業 ・水路嵩上げ、水路敷コン、U字溝敷設、樋門改修、その他		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 事業導入土地改良区等</td> <td>改良区</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>イ 事業導入地区</td> <td>地区</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 事業導入土地改良区等	改良区	1	1	2	1	1	イ 事業導入地区	地区	2	2	4	4	3	ウ							エ							オ						
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																												
ア 事業導入土地改良区等	改良区	1	1	2	1	1																																												
イ 事業導入地区	地区	2	2	4	4	3																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																																
・農業水利施設の適正な整備及び、良好な維持保全を図る ・農業水利施設を管理する土地改良区や農家の負担を軽減する		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 農業用施設の整備延長（用水路）</td> <td>m</td> <td>180</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>イ 農業用施設の整備延長（用水嵩上げ）</td> <td>m</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>323</td> <td>446</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>ウ 農業用施設の整備延長（排水路）</td> <td>m</td> <td>120</td> <td>48</td> <td>80</td> <td>0</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>エ 樋門・堰</td> <td>箇所</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>オ その他</td> <td></td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 農業用施設の整備延長（用水路）	m	180	0	0	0	0	イ 農業用施設の整備延長（用水嵩上げ）	m	0	0	323	446	120	ウ 農業用施設の整備延長（排水路）	m	120	48	80	0	50	エ 樋門・堰	箇所	0	0	0	0	1	オ その他		0	1	0	0	0
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																												
ア 農業用施設の整備延長（用水路）	m	180	0	0	0	0																																												
イ 農業用施設の整備延長（用水嵩上げ）	m	0	0	323	446	120																																												
ウ 農業用施設の整備延長（排水路）	m	120	48	80	0	50																																												
エ 樋門・堰	箇所	0	0	0	0	1																																												
オ その他		0	1	0	0	0																																												
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか）		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																																
・農業生産基盤の基礎づくり		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 安定供給された受益面積</td> <td>ha</td> <td>5.6</td> <td>2.3</td> <td>2.8</td> <td>3.2</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 安定供給された受益面積	ha	5.6	2.3	2.8	3.2	2.5	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																												
ア 安定供給された受益面積	ha	5.6	2.3	2.8	3.2	2.5																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
(2) 総事業費の推移																																																		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0																																									
			県支出金	千円	0	0	0	0	0																																									
			地方債	千円	0	0	0	0	0																																									
			その他	千円	0	0	0	0	0																																									
			一般財源	千円	330	183	462	341	316																																									
			事業費計(A)	千円	330	183	462	341	316																																									
人件費			正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2																																									
			延べ業務時間	時間	150	150	150	150	150																																									
			人件費計(B)	千円	633	629	623	623	623																																									
トータルコスト(A)+(B)				千円	963	812	1,085	964	939																																									

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	老朽化し整備を要する農業用水利施設でも軽微な補修については、国・県補助の対象とならないため、市が独自に支援。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農業用水利施設の整備は、農業生産の基礎づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共性のある農業用水利施設に対する事業であり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象となる農業水利施設は、要綱で決められているため適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 農業用水の安定供給が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 農業用水の安定供給ができない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助率が決まっているため、削減余地がない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金の支出事務であり、必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益面積に応じた負担があり公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							